

ロボット介護推進プロジェクト

補助対象「ロボット介護機器」展示説明会

1. 展示説明会の開催趣旨
2. 高齢者介護の現状、介護ロボットに関する取り組み
 - ロボット介護機器開発・導入促進事業（経産省）
 - 福祉用具・介護ロボット実用化支援事業（厚労省）
 - ロボット介護推進プロジェクト（経産省）
3. ロボット介護推進プロジェクトの活用

◆東京会場	平成26年6月 9日(月)	TOC有明
◆神戸会場	平成26年6月11日(水)	兵庫県立福祉のまちづくり研究所
◆福岡会場	平成26年6月13日(金)	福岡市介護実習普及センター
◆札幌会場	平成26年6月17日(火)	TKP札幌駅カンファレンスセンター

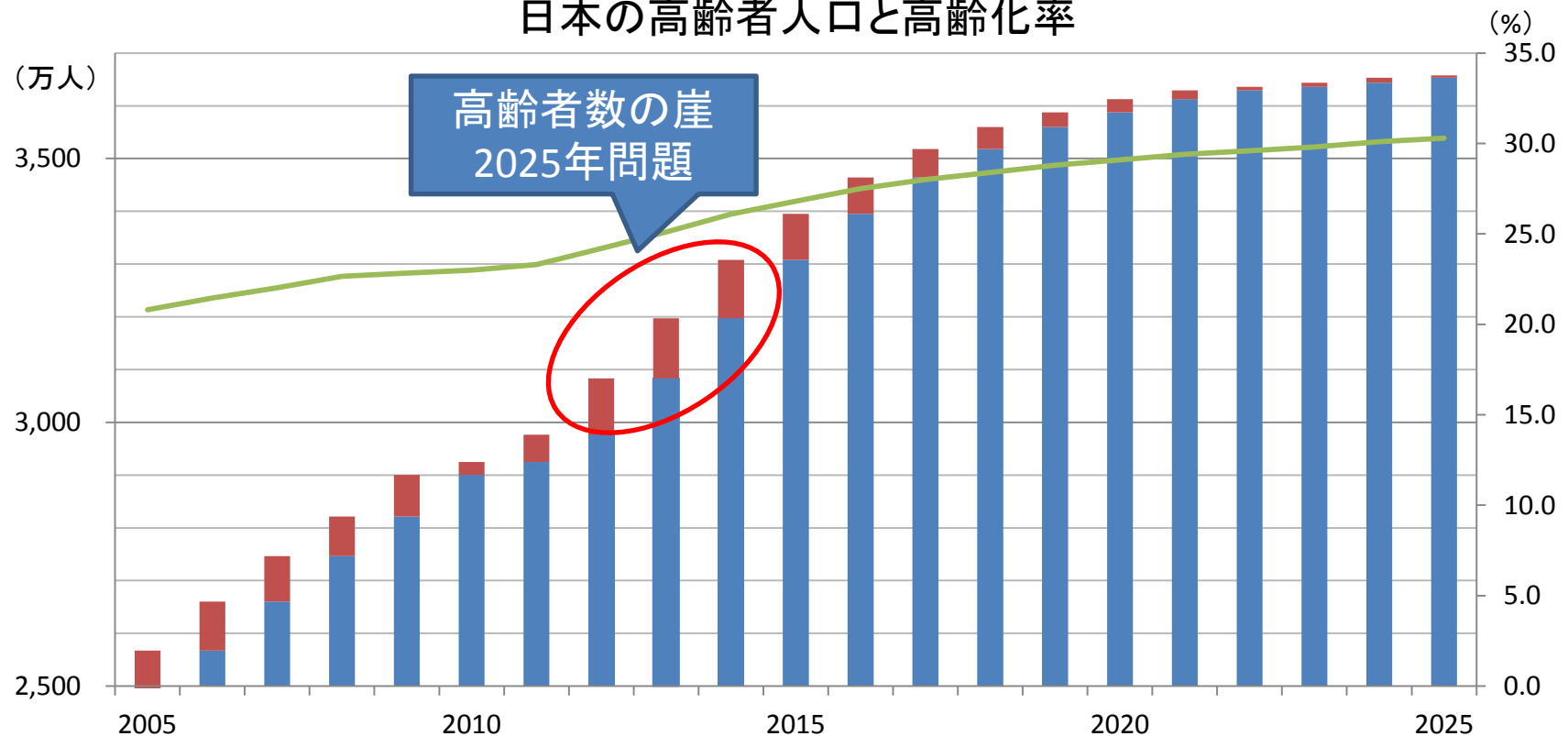
公益財団法人 テクノエイド協会

ロボット介護機器が期待される背景

介護現場の課題

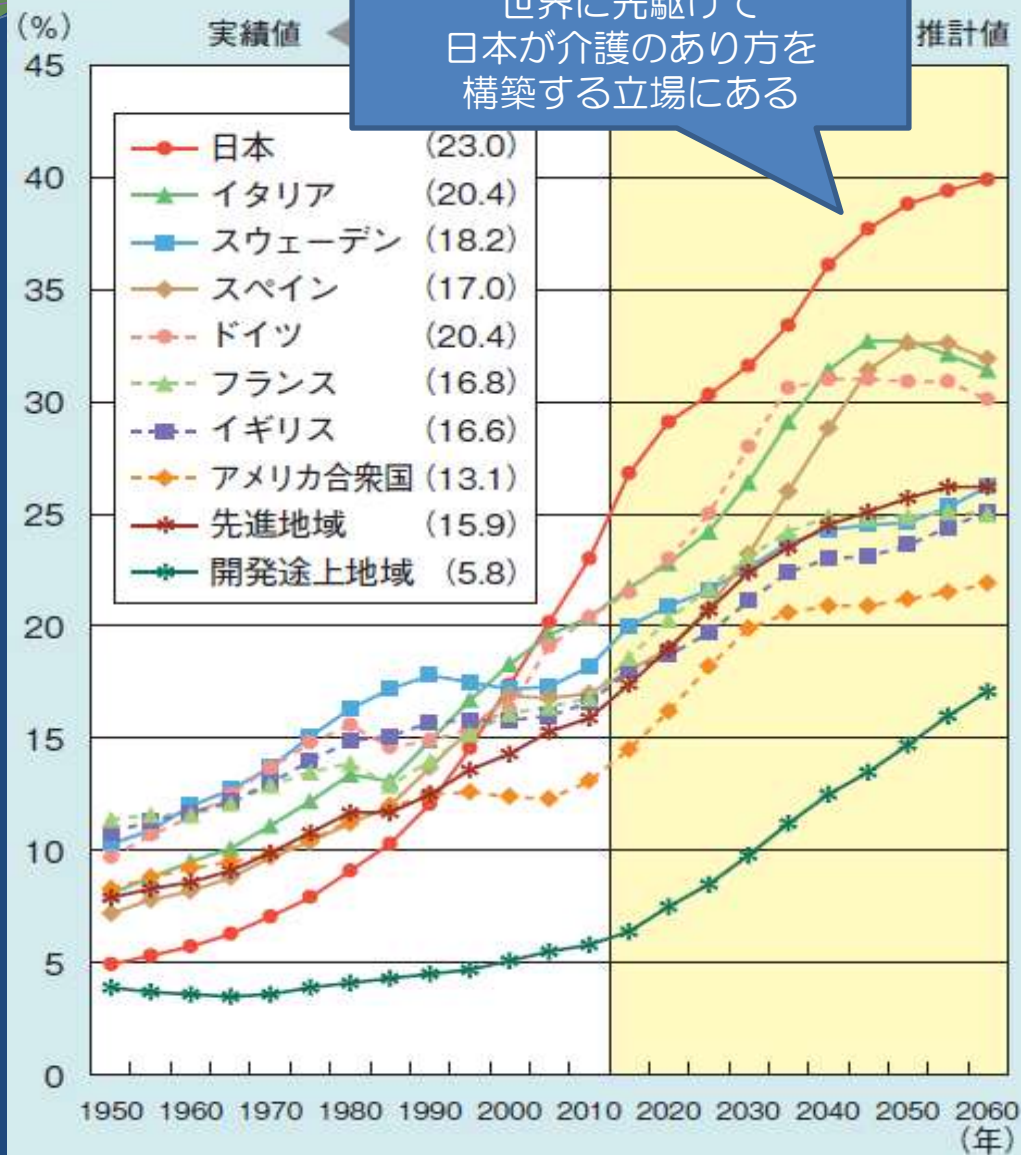
- (1) 2010年から2025年までの15年間で、65歳以上の 高齢者は約709万人増加。社会全体の高齢化率(総人口に占める高齢者の割合)が23%から30%に大幅上昇。
- (2) 団塊の世代が一挙に高齢者になり、2012～2014年には毎年100万人以上高齢者が増加。
- (3) 介護職員の数も2010年の150万人から、2025年には240万人が必要。
- (4) 7割が腰痛を抱えるという現場の負担軽減が必要。

日本の高齢者人口と高齢化率

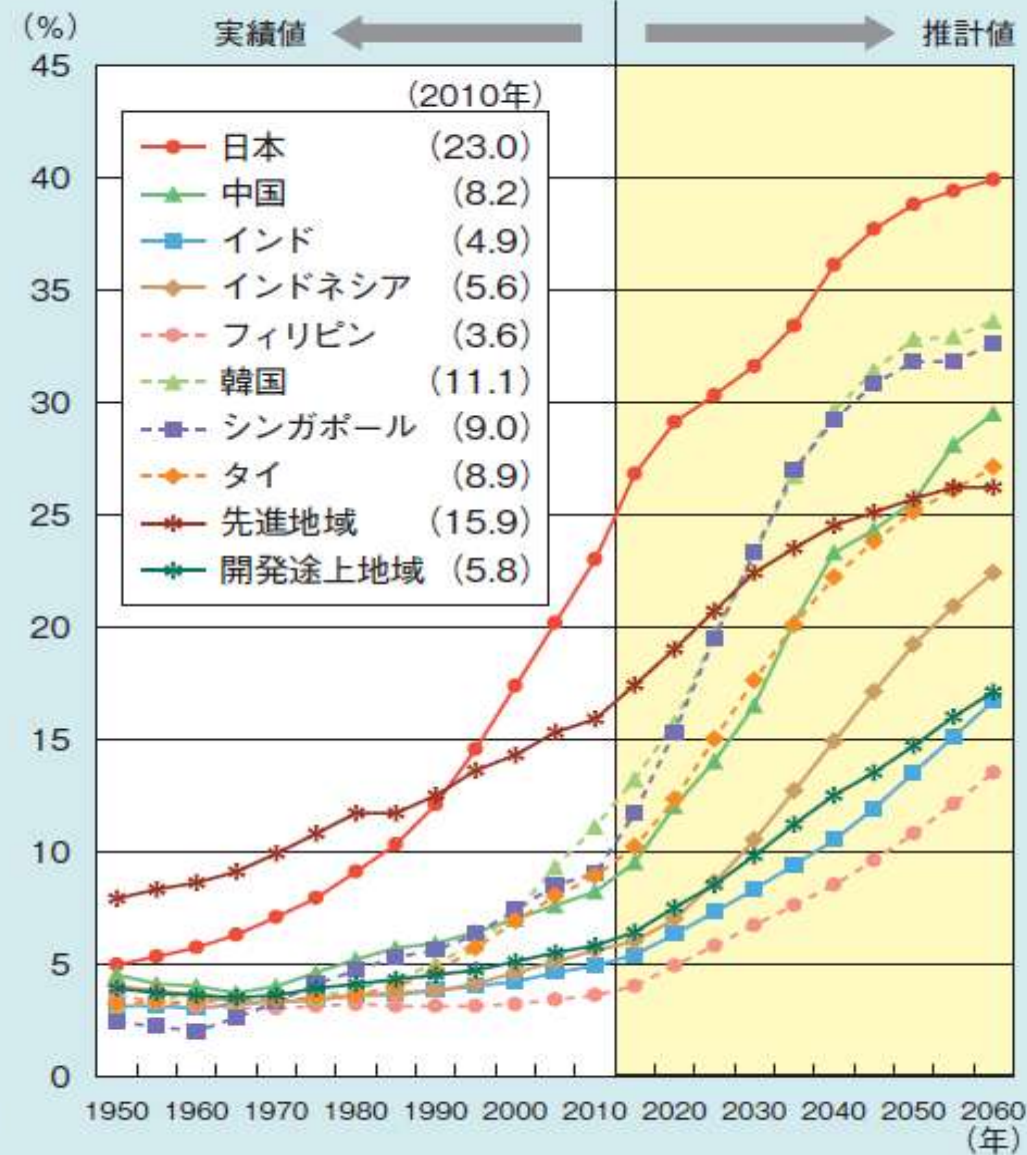


ロボット介護機器が期待される背景

1. 欧米



2. アジア



介護サービス量と給付費の将来見通し

○ 現状の年齢階級別のサービス利用状況が続いたと仮定した場合(現状投影シナリオ)に比べ、改革シナリオでは在宅・居住系サービスを拡充。
※2025年度は社会保障に係る費用の将来推計について(平成24年3月)

2012年度

2025年度
(現状投影シナリオ)

2025年度
(改革シナリオ)

利用者数		452万人	663万人(1.5倍)	657万人(1.5倍) ・ 介護予防・重度化予防により全体として3%減 ・ 入院の減少(介護への移行):14万人増
在宅介護	320万人分	447万人分(1.4倍)	463万人分(1.5倍)	
うち小規模多機能	5万人分	8万人分(1.5倍)	40万人分(7.6倍)	
うち定期巡回・ 随時対応型サービス	—	—	15万人分(—)	
居住系サービス	33万人分	52万人分(1.6倍)	62万人分(1.9倍)	
特定施設	16万人分	25万人分(1.6倍)	24万人分(1.5倍)	
グループホーム	17万人分	27万人分(1.6倍)	37万人分(2.2倍)	
介護施設	98万人分	164万人分(1.7倍)	133万人分(1.4倍)	
特養	52万人分 (うちユニット13万人(26%))	87万人分(1.7倍) (うちユニット22万人分(26%))	73万人分(1.4倍) (うちユニット51万人分(70%))	
老健(+介護療養)	47万人分 (うちユニット2万人(4%))	76万人分(1.6倍) (うちユニット4万人分(5%))	60万人分(1.3倍) (うちユニット29万人部(50%))	
介護職員		149万人	237~249万人	

介護費用 8.9兆円

21兆円

第1号保険料(月額) 約4,972円

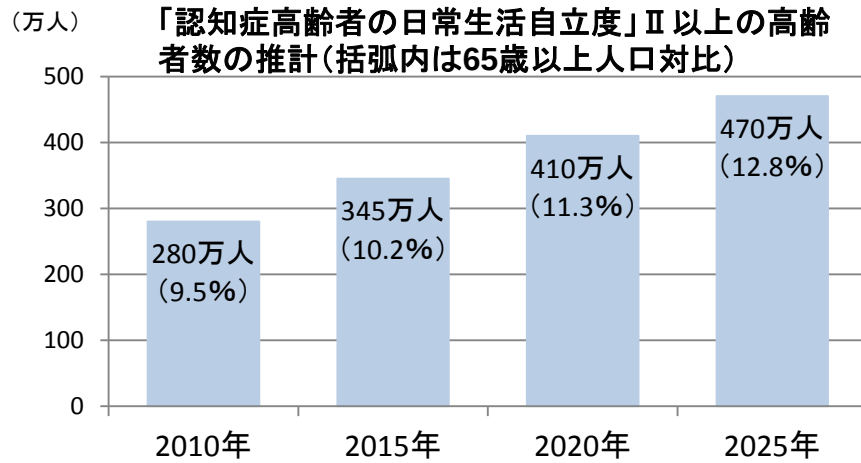
約8,200円

今後の介護保険をとりまく状況について

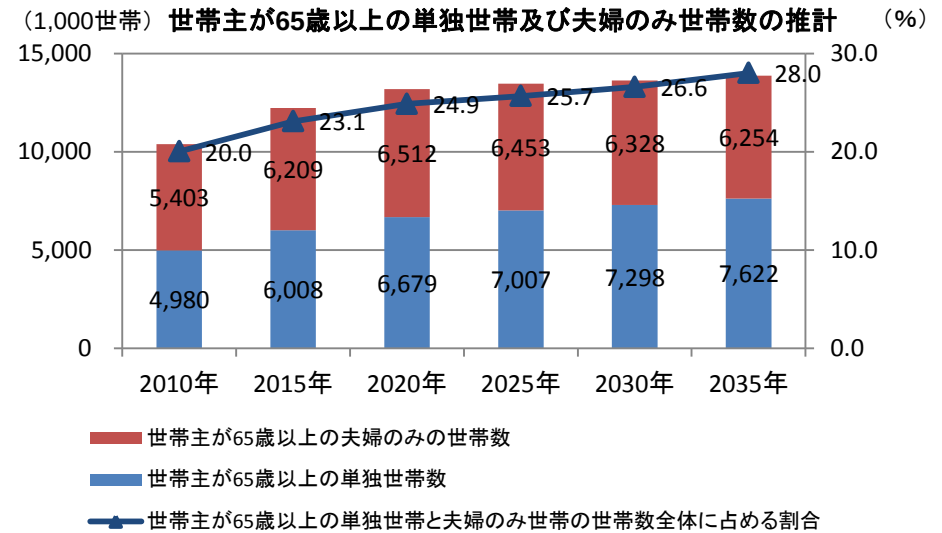
- ① 65歳以上の高齢者数は、2025年には3,658万人となり、2042年にはピークを迎える予測(3,878万人)。
また、75歳以上高齢者の全人口に占める割合は増加していき、2055年には、25%を超える見込み。

	2012年8月	2015年	2025年	2055年
65歳以上高齢者人口(割合)	3,058万人(24.0%)	3,395万人(26.8%)	3,658万人(30.3%)	3,626万人(39.4%)
75歳以上高齢者人口(割合)	1,511万人(11.8%)	1,646万人(13.0%)	2,179万人(18.1%)	2,401万人(26.1%)

- ② 65歳以上高齢者のうち、「認知症高齢者の日常生活自立度」Ⅱ以上の高齢者が増加していく。



- ③ 世帯主が65歳以上の単独世帯や夫婦のみの世帯が増加していく。



- ④ 75歳以上人口は、都市部では急速に増加し、もともと高齢者人口の多い地方でも緩やかに増加する。各地域の高齢化の状況は異なるため、各地域の特性に応じた対応が必要。

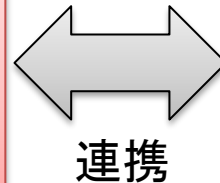
	埼玉県	千葉県	神奈川県	大阪府	愛知県	東京都	～	鹿児島県	島根県	山形県	全国
2010年 <>は割合	58.9万人 <8.2%>	56.3万人 <9.1%>	79.4万人 <8.8%>	84.3万人 <9.5%>	66.0万人 <8.9%>	123.4万人 <9.4%>		25.4万人 <14.9%>	11.9万人 <16.6%>	18.1万人 <15.5%>	1419.4万人 <11.1%>
2025年 <>は割合 ()は倍率	117.7万人 <16.8%> (2.00倍)	108.2万人 <18.1%> (1.92倍)	148.5万人 <16.5%> (1.87倍)	152.8万人 <18.2%> (1.81倍)	116.6万人 <15.9%> (1.77倍)	197.7万人 <15.0%> (1.60倍)		29.5万人 <19.4%> (1.16倍)	13.7万人 <22.1%> (1.15倍)	20.7万人 <20.6%> (1.15倍)	2178.6万人 <18.1%> (1.54倍)

介護ロボットの開発支援について

民間企業・研究機関等

機器の開発

○日本の高度な技術を活用し、高齢者や介護現場の具体的なニーズを踏まえた機器の開発支援
【経産省中心】



介護現場

介護現場での実証等

○開発の早い段階から、現場のニーズの伝達や試作機器について介護現場での実証（モニター調査・評価）
【厚労省中心】

（開発等の重点分野） 経済産業省と厚生労働省において、重点的に開発支援する分野を特定（平成25年度から開発支援）

○移乗介助(1)

・ロボット技術を用いて介助者のパワーアシストを行う装着型の機器



○移乗介助(2)

・ロボット技術を用いて介助者による抱え上げ動作のパワーアシストを行う非装着型の機器



○移動支援(1)

・高齢者等の外出をサポートし、荷物等を安全に運搬できるロボット技術を用いた歩行支援機器



○移動支援(2)

・高齢者等の屋内移動や立ち座りをサポートし、特にトイレへの往復やトイレ内での姿勢保持を支援するロボット技術を用いた歩行支援機器



○排泄支援

・排泄物の処理にロボット技術を用いた設置位置調節可能なトイレ



○認知症の方の見守り(1)

・介護施設において使用する、センサーや外部通信機能を備えたロボット技術を用いた機器のプラットフォーム



○認知症の方の見守り(2)

・在宅介護において使用する、転倒検知センサーや外部通信機能を備えたロボット技術を用いた機器のプラットフォーム



○入浴支援

・ロボット技術を用いて浴槽に出入りする際の一連の動作を支援する機器



※赤枠は新たに追加した項目（平成26年2月）

※開発支援するロボットは、要介護者の自立支援促進と介護従事者の負担軽減に資することが前提

福祉用具・介護ロボット実用化支援事業(厚生労働省)

平成26年度予算額 0.8億円 (0.8億円)

【具体的な取り組み内容(平成25年度)】

相談窓口の設置

介護ロボットの活用や
開発等に関する相談
窓口を開設

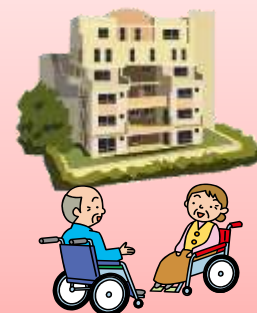
- 電話による相談
- ホームページによる相談



実証の場の整備

実証に協力できる施設・事業所
等をリストアップし、開発の状態
に応じて開発側へつなぐ。

- ホームページにて募集
- 協力施設・事業所等に対する研修



モニター調査の実施

開発の早い段階から試作機器
等について、協力できる施設・
事業所等を中心にモニター
調査を行う。

- 試作段階での評価
- 介護現場において実証試験 等



普及・啓発

国民の誰もが介護ロボットに
ついて必要な知識が得られる
よう普及・啓発を推進していく。

- パンフレットの作成
- 介護ロボットの展示・体験
- 介護ロボットの活用に関する研修 等



その他

- 介護現場におけるニーズ調査の実施
- 介護現場と開発現場との意見交換の場の開催 等

介護ロボットに関する相談窓口の開設について

「一般の方・介護に従事する方」及び「開発に携わる方」の相談に応じます。

○開設日 : 平成25年7月29日

○開設場所: 公益財団法人テクノエイド協会内 介護ロボット相談窓口
(東京都新宿区神楽河岸1-1セントラルプラザ4階)

専用電話番号: 03-3260-5121

(※つながない場合には、企画部電話番号: 03-3266-6883)

相談用メールアドレス: robot@techno-aids.or.jp

○相談受付日時: 平日(9時~12時、13時~17時)

主な利用内容

※222件の相談実績(平成26年1月時点)

(一般の方)

- 介護ロボットの種類や開発の状況、実用化している機器の概要等を知りたい
- 施設で使えるものがあるかどうか相談したい
- 介護で困っていることがあるのだが、介護ロボット活用した対応方法等について相談したい
- 介護現場のニーズを提供したい 等

(開発に携わっている方)

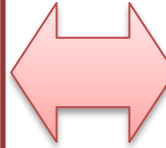
- 介護ロボットの開発を計画しているが、介護現場のニーズに合っているかどうか相談したい
- 開発中の介護ロボットについて実証試験をしたいが、どうすれば良いか教えてほしい
- 介護現場のニーズについて相談したい
- 我が社の持っている技術が介護現場に活用できるか相談したい 等

平成26年度 モニター調査等の位置付けについて

(1) 専門職によるアドバイス支援等の実施

①介護職員等との意見交換の実施

- 介護施設等での自由な意見交換を通じて、当該機器の対象者と適用範囲、期待される効果、開発にあたっての課題等についての話し合いを行う。



それぞれの
役割が
異なる

②専門職によるアドバイス支援の実施

- 高齢者や福祉用具に係わる専門職が専門的なアドバイスをを行うことにより、真に必要とされる機能・機器の開発を促す。

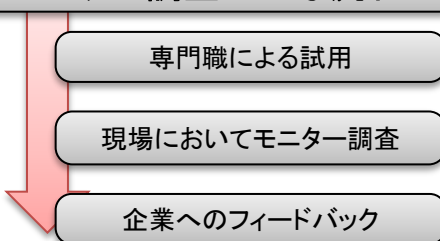
(2) モニター調査の実施

↑ ↓ ★近日、受付予定★

モニター調査の実施

- 介護現場において、使い勝手のチェックやニーズの提供など、企業が機器開発上有用となる情報を収集するためのモニター調査を行う。

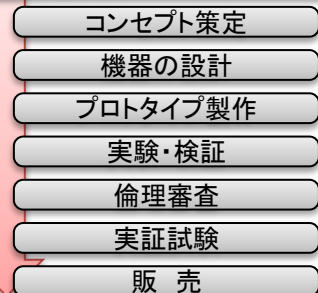
モニター調査の主な流れ



モニター調査と合わせて
実証試験を行うことも可
能

- 開発しようとする機器について、有用性・安全性等について仮説のもと試験計画を作成し、現場において実証検証。

機器開発の主な流れ



ロボット介護機器開発・導入促進事業 25. 5億円（23. 9億円）

製造産業局 産業機械課
03-3501-1691

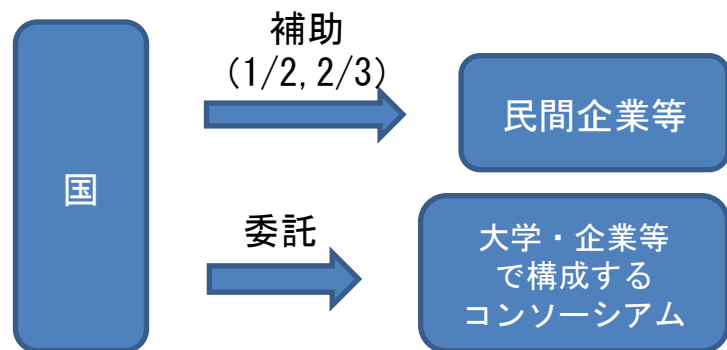
事業の内容

事業の概要・目的

○高齢者の自立支援、介護実施者の負担軽減に資するロボット介護機器の開発・導入を促進します。

○介護現場等のニーズを踏まえ、厚生労働省と連携して「ロボット技術の介護利用における重点分野」を特定し、その分野のロボット介護機器を開発する企業等に対し補助を行うとともに、介護現場への導入に必要な基準作成等の環境整備を行います。

条件（対象者、対象行為、補助率等）



事業イメージ

I. 重点分野のロボット介護機器の開発補助

ロボット技術の介護利用における重点分野
（平成24年11月22日公表、26年2月改訂 経産省・厚労省公表）

移乗介助



移動支援



屋内移動支援

排泄支援



認知症の方の見守り



在宅見守り

入浴支援



II. 介護現場への導入に必要な環境整備

○安全・性能・倫理の基準を作成し、効果の高いロボット介護機器を評価・選抜し、介護現場での実証試験実施や導入を促進する。

ロボット介護機器開発・導入促進における考え方

開発・導入支援のコンセプト

複雑・高価なロボット
2000万円程度

機能の選択と集中
《ニーズ指向》

①単純・安価だから「使える」
10万円程度《安価に》

②2025年の需要に応える
高齢単身世帯700万台分
介護職員240万台分
《大量に》

ロボット介護機器開発5ヵ年計画

- ① 開発対象を重点分野に限定
- ② 成果に応じて補助対象を重点化・入替え（開発競争）
- ③ 優秀事例の優先展開（導入支援）

来年度から市場投入開始

「使える」ロボットの早期導入

厚労省が集約

介護ロボットの実証試験に関心のある
介護施設や自治体など283機関

マッチング

経産省が集約

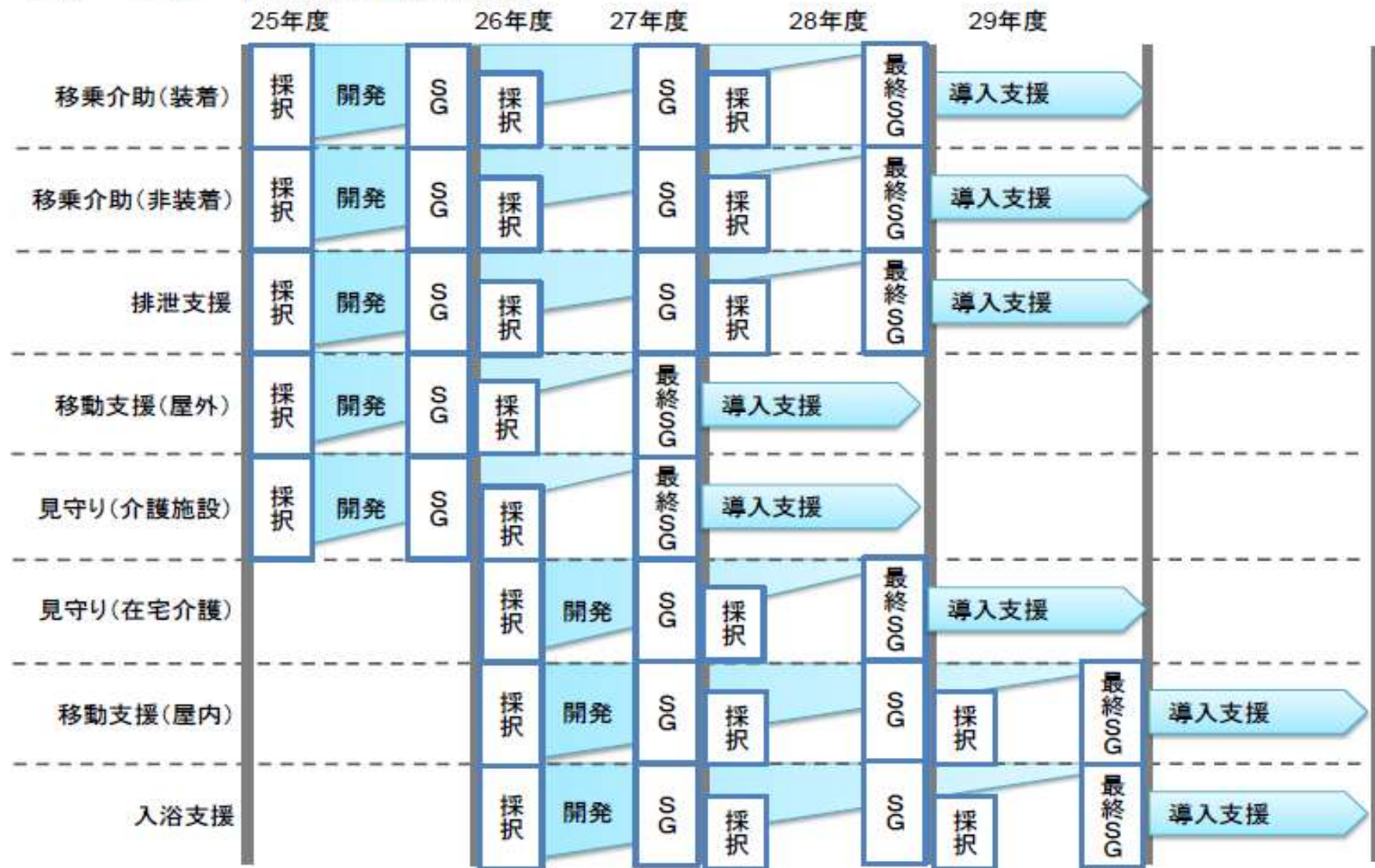
開発意欲のある企業113社

海外展開に向けて

- 生活支援ロボットの安全の国際標準が、日本リードの下で年明けに発効。
- 介護ロボットの標準も、上記成果を基に日本リードでの策定を目指す。

中長期事業スケジュール

ステージゲート方式の開発補助



ロボット介護推進プロジェクト

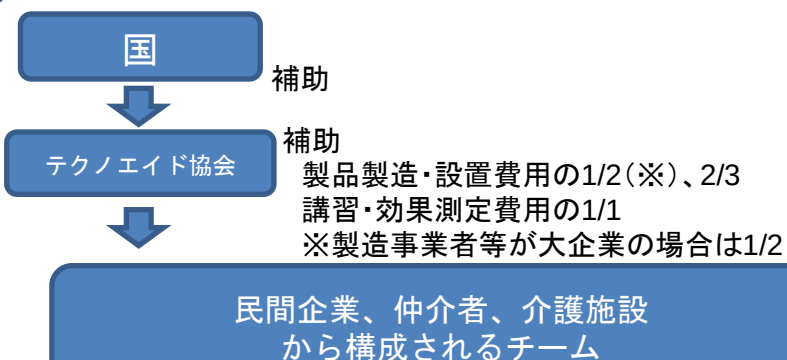
経済産業省 製造産業局 産業機械課
03-3501-1691
公益財団法人テクノエイド協会 企画部
03-3266-6883

事業の内容

事業の概要・目的

- ロボット介護機器については、現場とのコミュニケーションの不足や先行事例が乏しいこと等、市場の不確実性が高く、優れたアイデアを持ちつつも量産化に踏み切れていません。
- 本事業は、量産化への道筋をつけることを目的として、製造事業者と仲介者と介護施設がチームを組んで、実際に現場で活用しながら、ロボット介護機器の大規模な効果検証や改良を行います。
- さらに、検証結果に基づく効果のPR、普及啓発、教育活動を通じて、ロボット介護機器導入の土壌を醸成します。

条件（対象者、対象行為、補助率等）



事業イメージ

ロボット介護機器導入実証チーム 介護現場におけるロボット介護機器の 大規模な導入実証を実施

製造事業者

- ・ロボット介護機器の製造
- ・導入講習計画の作成
- ・効果検証計画の作成

仲介者 (レンタル業者等)

- ・導入講習の実施
- ・効果検証の実施
- ・改良点のフィードバック

介護施設

- ・ロボット介護機器の継続活用
- ・効果検証への協力

- ・製造事業者、仲介者、介護施設のマッチング支援
- ・効果検証効果の集約
- ・効果PR・普及啓発・教育活動

ロボット技術の介護利用における重点分野 (平成24年11月22日 経産省・厚労省公表)

移乗介助



移乗介助



移動支援



排泄支援



見守り



ロボット介護推進プロジェクト 事業スキーム

経産省

定額
補助

公益財団法人テクノエイド協会

メーカー、仲介者、介護施設のリスト化及びマッチング支援

- 導入効果の集約及び効果を元にした普及・広報・教育活動

チームへ補助

開発実証事業

補助率

- 製品製造・設置費用の2/3(中小企業)、1/2(その他)
- 講習・効果測定費用の1/1

メーカー

仲介者

介護実習・普及センター及び地域包括支援センター、市町村、福祉用具貸与サービス事業者 等

介護施設

製品費用の残り1/3又は1/2をチーム内で分担

- 初期ロットのロボット製造
- 導入講習計画作成
- 導入効果測定計画作成

- 導入講習の実施
- 介護現場への導入支援

導入

量産化
への改良

- 導入効果測定の実施
- 改良点のフィードバック

- 導入講習への参加
- 介護施設における継続活用
- 導入効果測定への協力

チームA

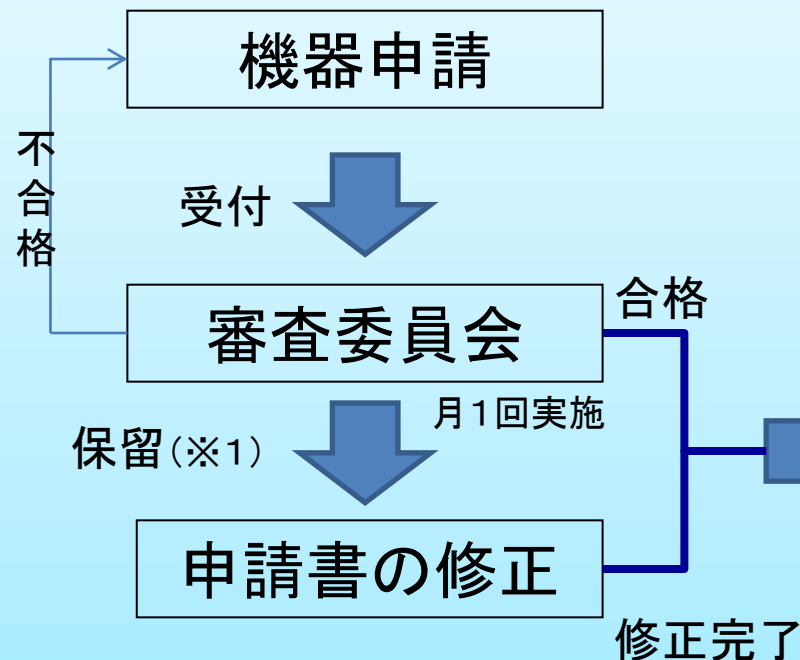
チームB

チームC

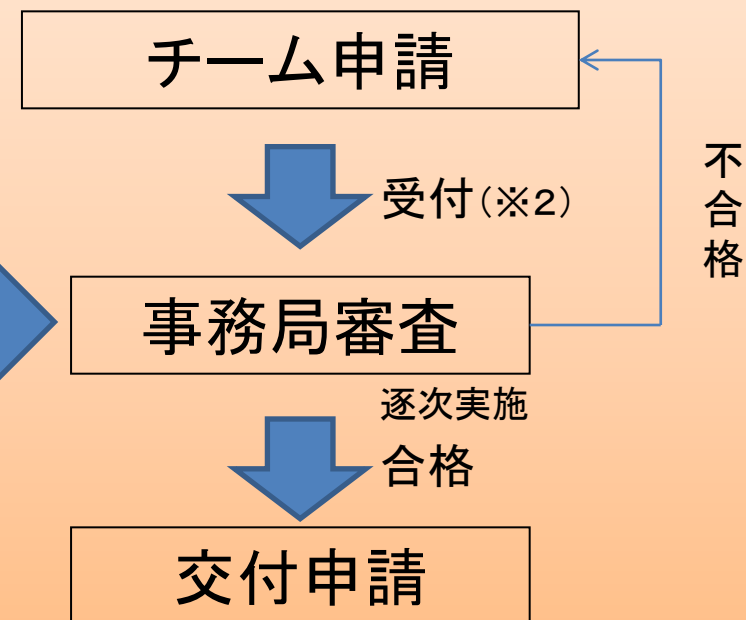
※例えば地域毎に仲介者と介護施設の組み合わせを変えるなど、メーカーは、複数のチーム形成(複数の補助申請)を行うことが可能。

補助対象機器と補助対象チームの決定までの流れ

機器に対する審査



チームに対する審査



交付決定

※1 保留の場合は書類が整い次第、不足分を提出または修正してください。

※2 チーム申請は機器申請と同時に申請することも可能です。

ロボット介護推進プロジェクトの活用

本プロジェクトは、重点分野のロボット介護機器について

- 量産化の後押し
- 介護現場での利用の推進
- 利用効果の普及、教育活動 …

高齢者・障害者の自立支援の促進と

介護施設や居宅介護サービスにおける課題を解決する一助として

- これまでの介護の在り方について、再点検を行うとともに、
ロボット技術を活用した福祉機器の活用を
メーカー、仲介者、介護施設等が共に考えるもの

是非、この機会にメーカーと知り合って、チーム申請に繋げてください。
また、相談窓口までご連絡ください。

● 公募書類と提出方法

[ページの先頭へ](#)

- 公募要領 6月公募受付版 (PDF形式: 955KB) (WORD形式: 2,232KB)
- 記載例 (PDF形式: 635KB)
- モデルスケジュール (PDF形式: 306KB)
- Q & A (PDF形式: 250KB)

	補助対象機器	補助対象チーム
提出書類	補助対象機器提案書 (Excel形式: 81KB) 様式1 補助対象機器申請書 様式2 補助対象機器提案書 その他の書類(形式自由) ・法人概要 ・直近3か年分の財務諸表 ・製品パンフレット ・取扱説明書 ・機器の写真・図 ※ファイルに綴じて、10部提出	チーム提案書 (Excel形式: 131KB) 様式3 補助対象チーム提案書 様式4 製品製造・設置費用計画書 様式5 導入効果測定 実施計画書 様式6 導入講習 実施計画書 様式7 仲介者情報書 様式8 介護施設等情報書 その他の書類(形式自由) ・法人概要資料 ※ファイルに綴じて、10部提出
提出先	162-0823 東京都新宿区神楽河岸1-1 セントラルプラザ4階 公益財団法人テクノエイド協会 ロボット介護推進プロジェクト 担当: 加藤・五島・谷田・安栗 電話: 03(3266)6883 メール: robocare@techno-aids.or.jp	101-0063 東京都千代田区神田淡路町2-105 フテラスアネックス 株式会社インターリスク総研 ロボット介護推進プロジェクト 担当者: 齋藤・依田 電話: 03(5296)8918 メール: robocare@ms-ad-hd.com

※ 申請書類は、電子メールと郵送の両方で提出してください。

(参考)介護ロボットに関するホームページ情報(テクノエイド協会)

<http://www.techno-aids.or.jp/>

**公益財団法人テクノエイド協会**
The Association for Technical Aids(ATA)

Welcome to association for technical aids' home page

サイト内検索検索

協会紹介 | アクセス | リンク・著作権・免責事項 | 個人情報保護方針 | 情報公開 | 賛助会員 | リンク集

**お知らせ NEW!**[一覧を表示 >](#)

- 2014.05.01 [福祉用具情報システム\(TAIS\) 最新情報\(平成25年4月分\)を更新しました](#)
- 2014.04.30 [「REHACARE2014福祉機器展」視察ツアー募集開始のお知らせ](#)
- 2014.04.21 [H26 岡山市総合特区事業「介護機器貸与モデル事業」対象機器の公募について](#)
- 2014.04.11 [福祉用具プランナー管理指導者養成研修「起居移乗コース」開催要項を掲載しました](#)

ロボット介護推進プロジェクト(経済産業省) NEW!
[補助金に関する概要・公募要領・申請書類はこちら](#)
[補助対象機器一覧\(5月27日現在\) NEW!!](#)

福祉用具・介護ロボット実用化支援事業(厚生労働省)
[実証試験の対象機器一覧](#)
[介護ロボット等の開発実証試験等への協力意向登録はこちら](#)
[福祉用具・介護ロボット等を開発されている企業の方はこちらをご覧ください](#)
[平成25年度の事業概要はこちら](#)

**福祉用具ニーズ情報収集・提供システム**
よりよい福祉用具を作るためにご意見やご要望、お困り事などをお寄せください
新しいご要望・アイデアの書き込みをされる方はコチラ

補聴器関係はこちら

- ・認定補聴器技能者養成事業システム
- ・認定補聴器専門店認定システム
- ・補聴器販売店検索システム

NEW!! 生活利用用具データベースシステムを公開しました。
生活利用用具データベースシステム

 **福祉用具・介護ロボット開発実証環境整備事業**

 **福祉用具ニーズ情報収集・提供システム**

 **福祉用具情報システム(TAIS)**

 **福祉用具臨床的評価事業**

(参考)介護ロボットポータルサイト(経産省・産総研)

<http://robotcare.jp/>

介護ロボットポータルサイト

Robotic Devices for Nursing Care Project



[ホーム](#) [ニュース](#) [ロボット一覧](#) [評価基準](#) [参考資料](#) [リンク](#) [本サイトについて](#)

本当に使える介護機器の実現を目指して

いいね! 424人がいいね!しています。

介護従事者の負担軽減の観点から、介護現場においてロボット技術の活用が強く期待されています。その一方で、こうした先進的技術を利用した介護機器の分野は、市場性・安全性・実用性の問題から開発・製品化がなかなか進んでいません。

これらの障害を克服するため、経済産業省は、

- 現場のニーズを踏まえて重点分野を特定(ニーズ指向)
- ステージゲート方式で使い易さ向上とコスト低減を加速(安価に)
- 現場に導入するための公的支援・制度面の手当て(大量に)

をコンセプトとし、平成25年度より、下記事業内容からなる「ロボット介護機器開発・導入促進事業」を実施しています。

既に、経済産業省と厚生労働省は「ロボット技術の介護利用における重点分野(平成26年2月改訂)」を公表しており、本事業ではこの重点分野のロボット介護機器の開発・導入の支援を行うことにより、要介護者の自立促進や介護従事者の負担軽減を実現し、ロボット介護機器の新たな市場の創出を目指しています。

[Print This Page](#)

検索

Language

- 日本語
- English

0176279

フォローする

Be the first of your friends to follow ロボット介護機器開発プロジェクト。

最近のアクティビティ

ログイン

Log in to Facebook to see what your friends are doing.

[Facebook](#) [Twitter](#) [YouTube](#) [Instagram](#) [LinkedIn](#) [Pinterest](#) [Google Plus](#) [Snapchat](#) [Telegram](#) [WhatsApp](#) [Messenger](#) [Email](#) [Print](#) [Share](#) [Like](#) [Comment](#) [Retweet](#) [Bookmark](#) [Close](#)

(参考)ロボット介護機器開発・導入促進事業

～ 開発が進められるロボット介護機器 ～

平成26年度ロボット介護機器開発・導入促進事業(開発補助事業)採択内定者

No.	幹事企業名	所在地	研究開発計画名	分野
1	株式会社東芝	東京都	可搬バックパック型移乗介助機器開発	移乗介助 (装着)
2	ナブテスコ株式会社	東京都	アシスト制御を用いた外出支援歩行車の開発	移動支援 (屋外)
3	日本精工株式会社	神奈川県	外出支援アクティブ歩行補助車開発計画	移動支援 (屋外)
4	株式会社シンテックホズミ	愛知県	アシスト機能付き移動・運搬支援機の開発	移動支援 (屋外)
5	株式会社エヌウィック	宮城県	排泄支援ロボット「ポータブルトイレ爽」商品化計画	排泄支援
6	株式会社スマイル介護機器販売	愛媛県	排泄物の処理にロボット技術を用いた、設置位置が自由に移動できかつ ユーザーの症状などに応じて接続先や機能に変更可能なトイレ	排泄支援
7	積水ホームテクノ株式会社	大阪府	wells可変移動式水洗トイレ開発	排泄支援
8	株式会社ブイ・アール・テクノセンター	岐阜県	マルチ離床センサー対応型介護施設向け見守りシステムの開発	認知症見守り (介護施設)
9	株式会社ミツバ	群馬県	電動立ち上がり補助機能付き歩行器	移動支援 (屋内)
10	THK株式会社	東京都	要支援状態に応じてサポート機能の組み換えが可能なRT歩行器の開発	移動支援 (屋内)
11	日本精工株式会社	神奈川県	屋内用移動支援機器開発計画	移動支援 (屋内)
12	株式会社モリトー	愛知県	移動支援(屋内型)ロボット開発コンソーシアム	移動支援 (屋内)
13	株式会社ワイエムピー・ムンダス	大阪府	介助+α 移動器具	移動支援 (屋内)
14	船井電機株式会社	大阪府	制動制御型歩行支援と立ち座り支援を併せ持つ屋内生活支援機器の開発	移動支援 (屋内)
15	株式会社安川電機	福岡県	メカトロニクス技術を活用した移動アシスト装置の開発	移動支援 (屋内)

16	株式会社ネットワーク21	東京都	独居高齢者の見守り・転倒検知システムの開発	認知症見守り (在宅)
17	株式会社ソルクシーズ	東京都	見守り支援システム「いまイルモHI」開発計画	認知症見守り (在宅)
18	株式会社ケアコム	東京都	無線センサーネットワークを活用した認知症要介護者見守り支援システムの開発	認知症見守り (在宅)
19	株式会社CQ-Sネット	神奈川県	レーダー技術を用いた安心見守りシステム(転倒検知 在宅支援)	認知症見守り (在宅)
20	富士ソフト株式会社	神奈川県	在宅介護における転倒検知や転倒予防を行う見守りロボットの開発	認知症見守り (在宅)
21	株式会社バイオシルバー	神奈川県	在宅高齢者24時間遠隔地見守りシステム開発	認知症見守り (在宅)
22	株式会社富士データシステム	静岡県	在宅高齢者見守りネットワークシステムの開発	認知症見守り (在宅)
23	株式会社レイトロン	大阪府	カメラ組込み型画像認識システムを用いた見守りプラットフォームの開発	認知症見守り (在宅)
24	NKワークス株式会社	和歌山県	3次元電子マットを用いた在宅介護見守りシステム	認知症見守り (在宅)
25	旭光電機株式会社	兵庫県	転倒検知センサーの開発と実証	認知症見守り (在宅)
26	株式会社ロジカルプロダクト	福岡県	振動(加速度)検出方式－無線式見守りロボの開発	認知症見守り (在宅)
27	株式会社アドバンスド・デジタル・テクノロジー	福岡県	三次元センサーを用いた在宅介護見守りクラウドシステムの開発	認知症見守り (在宅)
28	株式会社エイビス	大分県	「在宅介護みまもり支援システム」の開発	認知症見守り (在宅)
29	積水ホームテクノ株式会社	大阪府	Wells可変入浴支援機器の開発	入浴支援
30	株式会社ハイレックスコーポレーション	兵庫県	入浴支援機器開発	入浴支援
31	TOTO株式会社	福岡県	浴槽設置型入浴支援機器の開発	入浴支援

平成26年度ロボット介護機器開発・導入促進事業(開発補助事業)継続事業者一覧

No.	幹事企業名	所在地	研究開発計画名	分野
1	CYBERDYNE株式会社	茨城県	移乗介助支援用ロボットスーツHALの研究開発	移乗介助 (装着)
2	株式会社菊池製作所	東京都	介護用マッスルスーツ事業化計画	移乗介助 (装着)
3	富士機械製造株式会社	愛知県	移乗介助用サポートロボットの開発	移乗介助 (非装着)
4	トヨタ自動車株式会社	愛知県	移乗ケアアシストの開発と評価	移乗介助 (非装着)
5	マッスル株式会社	大阪府	非装着型移乗支援介護機器ロボヘルパーSASUKE開発事業	移乗介助 (非装着)
6	パナソニック株式会社	大阪府	離床アシストベッド開発、実証	移乗介助 (非装着)
7	株式会社安川電機	福岡県	メカトロニクス技術を活用した移乗アシスト装置の開発	移乗介助 (非装着)
8	アズビル株式会社	東京都	おたすけ歩行車の開発	移動支援 (屋外)
9	株式会社今仙技術研究所	岐阜県	段差および凹凸対応の歩行支援器の開発	移動支援 (屋外)
10	船井電機株式会社	大阪府	ロボット技術・ネットワーク技術を活用した歩行支援機器の開発	移動支援 (屋外)

11	株式会社カワムラサイクル	兵庫県	安全・安心に外出をサポートするアシスト機能付き歩行車の開発	移動支援 (屋外)
12	アロン化成株式会社	東京都	真空排水式排泄アシスト水洗ポータブルトイレシステムの開発	排泄支援
13	TOTO株式会社	福岡県	居室設置型移動式水洗便器の開発	排泄支援
14	クラリオン株式会社	埼玉県	見守り機能型服薬管理支援機器・システム開発	認知症見守り (介護施設)
15	キング通信工業株式会社	東京都	赤外線3Dレーザーセンサー方式を採用したプラットフォーム開発(見守り用)	認知症見守り (介護施設)
16	株式会社イデアクエスト	東京都	FG視覚センサをもちいた認知症患者用非接触ベッド見守りシステムの開発	認知症見守り (介護施設)
17	株式会社スーパーリージョナル	東京都	高齢者見守りシステム市場化	認知症見守り (介護施設)
18	東海ゴム工業株式会社	愛知県	スマートラバーセンサとカメラを併用した見守りプラットフォームの構築	認知症見守り (介護施設)
19	ピップ株式会社	大阪府	認知症の方の見守りエージェント型ネットワークロボット研究開発プロジェクト	認知症見守り (介護施設)
20	NKワークス株式会社	和歌山県	3次元電子マットによる見守りシステム	認知症見守り (介護施設)